



平成26年11月10日

「自ら学び、共に考え、夢の実現めざして行動する子の育成」

～みんなで創ろう！笑顔あふれる陵ヶ岡～

第1回学校評価アンケートの集計結果について

紅葉の候、皆様方には平素から多大なるご理解ご支援をいただき誠にありがとうございます。

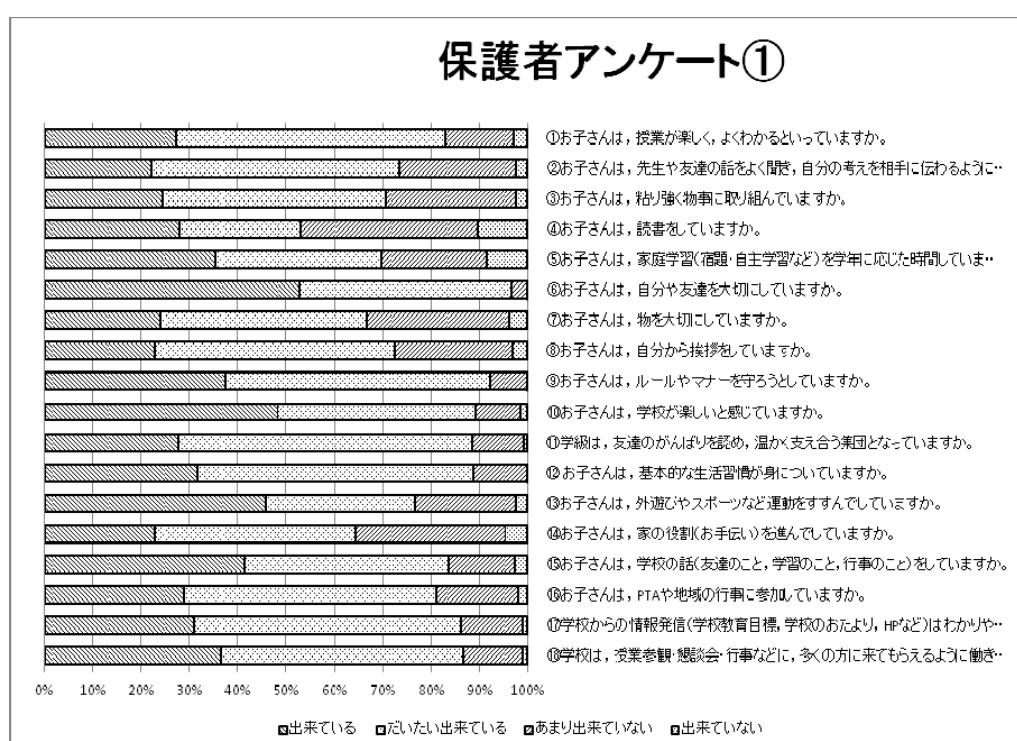
さて、大変遅くなりましたが9月下旬に実施いたしました今年度第1回目の学校評価アンケートの集計結果についてお知らせいたします。昨年度と同様にお子様一人につき一枚のアンケートをお願いいたしましたところ、のべ316名(約92.4%)の保護者の方から貴重なご意見をいただきました。お忙しい中たくさんの方の保護者のみなさんにご協力いただきありがとうございました。

本年度より保護者用、児童用、教職員用すべてのアンケート内容を変更いたしました。より学校教育目標やめざす子ども像との関連を明確にするため項目内容等の変更を行いました。保護者用アンケートは、家庭での子育てについてのアンケートを加え2種類にしました。また、今回から保護者用アンケートに自由記述欄を設け「ご家庭での子育てで工夫されていること」をお尋ねするようにしました。

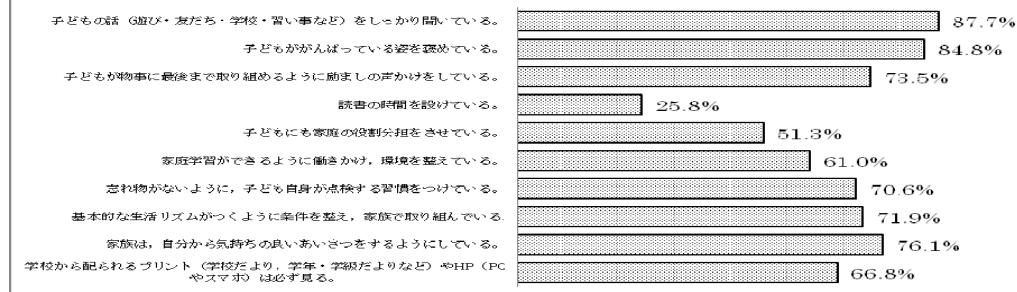
◆以下のアンケート結果は「出来ている」「だいたい出来ている」の合計の割合で分析しました。

○保護者アンケート①から

特に90%以上の高い割合は、「お子さんは、自分や友だちを大切にしていますか」「お子さんは、ルールやマナーを守ろうとしていますか」の2項目でした。また、項目の文言が異なるので一概に比較はできませんが、「お子さんは、学校が楽しいと感じていますか」については、89.2%となり、昨年度よりも約3ポイント下がっています。「お子さんは、自分からあいさつをしていますか」の項目は72.5%となり、昨年度と比べて約2.5ポイント上昇しています。「お子さんは、家庭学習(宿題・自主学習など)を学年に応じた時間していますか」は、69.6%と昨年度とほぼ同じ値でした。「お子さんは、読書をしていますか」については、52.8%と全項目の中で一番低い値となっています。



○保護者アンケート②



○保護者アンケート②から

「家庭での子育て」10項目について大切にしていることを複数回答で選んでいただきました。

80%以上は、「子どもの話をしっかりと聞いている」「子どもががんばっている姿を褒めている」の2項目でした。数値の低い項目は、「子どもにも家庭の役割分担をさせている」の51.3%。「読書の時間を設けている」に至っては25.8%でした。

また今回は、お家の子育てについて工夫されていることを自由に書いていただきました。たくさんの工夫が満載です。アンケートを通じて意見交流ができればいいと思います。

〈保護者アンケート②より抜粋〉 「ご家庭での子育てで工夫されていることがありましたら教えてください。」

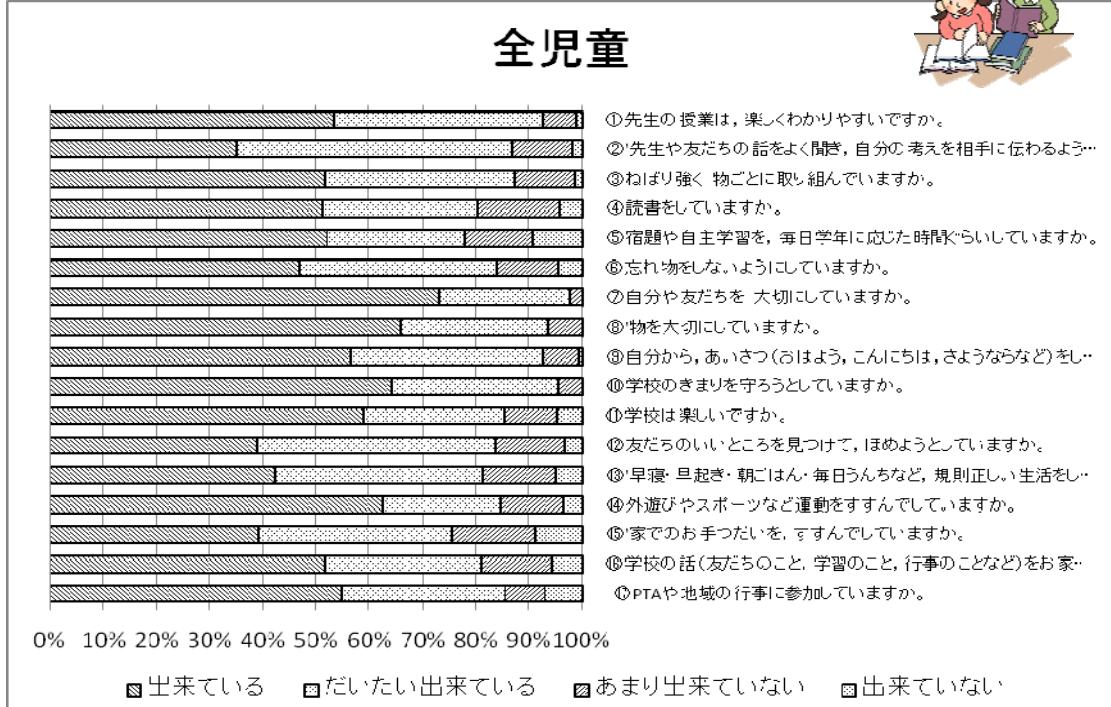
・友だちのことを、自分のことを大切にすることを折にふれ話す。
・寝る前に読み聞かせをしています。

・自然と触れ合う機会ができるだけ多くとるようにしている。
・週に2・3回、夜のテレビを消して、家族でトランプなどの遊びをしたり、近況を話し合ったりしている。
・「〇〇〇しなさい！」と言ってしまいたくなるのですが、できるだけ「今やらなアカンことなかつたっけ？」と問い合わせるようにしています。
・子どもがお手伝いをしてくれたり、何かしてくれた時には必ず「有難う」や「助かったよ」とか声を掛けています。
・できるかぎり自主性と自己肯定感をのばしたいので、興味をもつものには親もいつしょにチャレンジしたりしている。
・生活リズムが整う→登校前に余裕がある→家庭学習の時間にあてる の好循環になり、良かったと思っています。
・何事にも子どもたちの意見を聞くようにしています。大人よりも良いアイディアを言ってくれたりするのでとても嬉しいです。
・夕食と一緒に作る。(家庭科等で学校で習ったことなど)
・このアンケートのことを話していて親は子どもの話を聞いていましたが、子どもは聞いてもらっていないと言っていました。これからはもっと話を聞いてあげようと思っています。

*多くの保護者の方から貴重な御意見を頂きましたが、紙面の都合上、次号以降の「ゆきやなぎ」で御紹介します。

○児童アンケートから

90%以上の項目は、「先生の授業は、楽しくわかりやすいですか」「自分や友だちを大切にしていますか」「物を大切にしていますか」「自分から、あいさつ(おはよう、こんにちは、さようならなど)をしますか」「学校のきまりを守ろうとしていますか」の5項目でした。あいさつに関しては、92.4%で昨年度に比べて約2.5ポイント上昇しています。逆に、70%台は「宿題や自主学習を、毎日学年に応じた時間ぐらいいしていますか」「家でのお手つだいを、すすんでしていますか」の3項目でした。また、保護者アンケートと同様に「学校は楽しいですか」については85.2%で、昨年度に比べて約5ポイント下がっています。また、学年で比較的差がある項目は、「宿題や自主学習…」「学校は楽しいですか」「早寝早起き…」「家でのお手伝い…」で、高学年になるほど値が下がっています。



○教職員アンケートより

20項目については、「だいたい出来ている」以上を選択しています。ただ、「出来ている」の項目については、40%以下の項目が多く課題といえます。また、地域行事への参加に関して、なかなか参加できないといった結果になりました。

○学校運営協議会の理事の皆様のご意見より

10月14日(火)に行われました「第2回学校運営協議会」では、今回のアンケート結果について理事の皆様からいくつかのご意見を頂きました。中でも、「家庭での子育ての工夫」に関する保護者の方々の記述に関して、「保護者の方々の家庭教育に対する思いがたいへんよく伝わった。子育ての工夫をいろいろな保護者の方々と共有できるようになれば素晴らしいと思う。」といったご意見を頂きました。また、このアンケートが、もう一度わが子を見つめる機会や子育てを考える機会になればありがたいといったご意見もいただきました。地域行事への教職員や保護者、児童の参加に関しては、いろいろな行事に参加してもらうことで地域の思いを知っていただき共有していただければありがたいといったご意見もありました。

○陵ヶ岡小学校教職員一同今回のアンケート結果や学校運営協議会の理事の皆様からのご意見を深く受け止め、今後とも「一人一人を大切にした教育」の具現化に努めて参ります。子どもたちの夢の実現めざして、今つけておかなければならぬ力を明確にしてさらに取組を進め、「笑顔あふれる陵ヶ岡」を保護者の皆様、地域の皆様そして子どもたちとともに作っていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

平成26年度 全国学力・学習状況調査

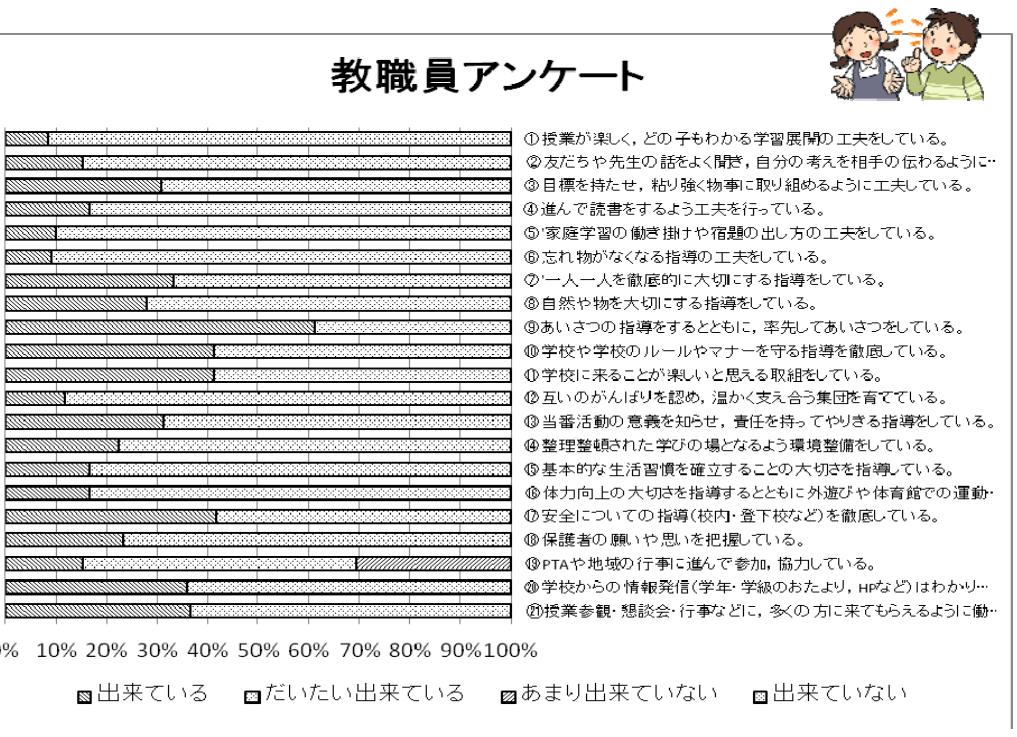
4月に、6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について結果がまとめました。本調査は、国語と算数の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されました。生活習慣と学力との関係など、本校の子ども達の状況をお伝えします。

1. 総合結果(国語・算数)

国語AB、算数ABとも全国平均を上回っています。特に、国語B、算数Bの「主として活用の問題」が全国平均を大きく上回る結果となりました。日頃の授業の中で、聞く姿勢を大切にし、相手意識を持った発言や、自分の考えを短くまとめて書く学習を継続してきた結果の表れであるととらえています。

2. 国語科より

国語B(主として活用)の問題では、読むこと、書くことの項目で日頃の授業での成果が表れた形となりました。国語科に限らず、授業の終わりに自分の考えをまとめた学習を積み重ねてきた成果といえます。しかし、漢字の読み書きでは平均点を下回るものもありました。日頃から文章を書くときに漢字を使い、必要ならば辞書を引く習慣をつけることが大切です。



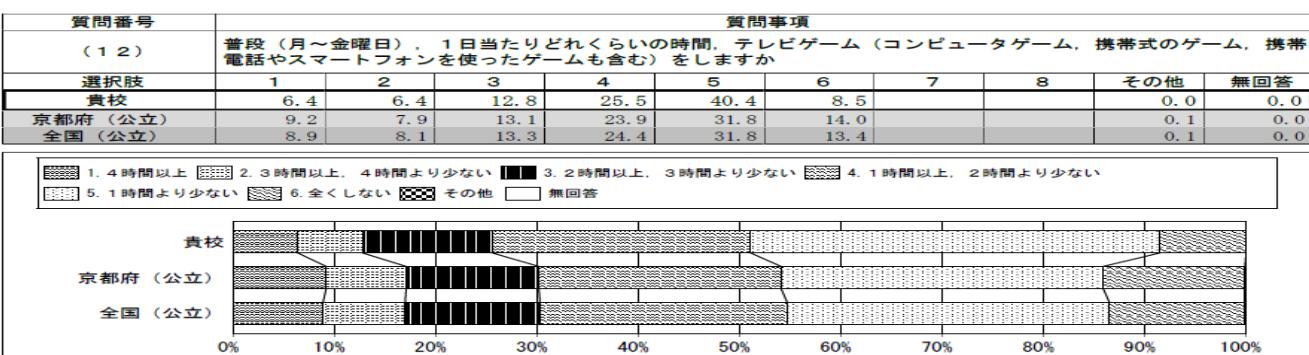
3. 算数科より

算数はA問題もB問題もバランスよく良い結果となりました。日頃から自分の考えを論理的に述べる授業の成果であるといえます。しかし分数の計算が平均をわずか下回りました。分数の計算は、中学校では数学や理科で使うことが多いと言われています。分数が表す意味を確認し、確かな計算力を伸ばしていきたいと思います。

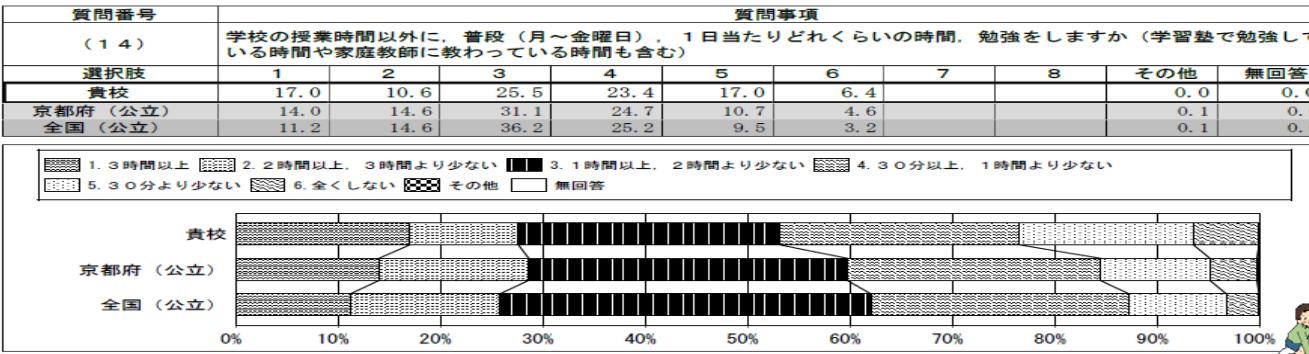


4. 児童質問紙から

○1日当たりどれくらいゲームをしていますか？ 新聞報道等では「ゲームの時間が長いほど平均正答率が低い」と言われています。本校では「全くゲームをしない」児童の割合が全国平均より低く、ほとんどの児童がゲームをしているといえます。ゲームとどのような付き合い方をするのか、「ご家庭で決めたことを守ること」が大切だと思います。



○1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか？ 学校での授業時間以外の勉強時間が30分以下あるいはまったく学習しない児童の割合が全国平均より高い一方で、3時間以上勉強している児童もいます。まずは自分で勉強するという「習慣」をつけることです。自分で勉強するという「習慣」は、「計画を立てる」「見通しを持って行動する」などの大切な力をつけることにつながります。



5. 全体を通じた本校の成果と課題

日常の授業で意図的に積み上げてきた相手意識を持って話す・聞くこと、自分の考えや今日の学びについて書きまとめる学習をしてきたことが、今回の成績につながったと考えております。

今、子ども達に求められている学力は、自分の考え方や体験を文章にまとめ、わかりやすく伝える力につけることであるといえます。何度も書くことによって、読解力が上がり、また他の文章の表現に学ぶことができると思います。

また本校では、音読の学習を全校で取り組んでいます。覚えるほどに読むことで、すばらしい文章の表現に学ぶことにつなげたいと考えております。さらに3年生以上の学年では自主学習に取り組んでいます。家庭で学習する習慣をつくるとともに、予習・復習の大切さをつかんでほしいと考えています。小学校の時に培った学習習慣は、必ず中学校・高校をはじめとするこれからの進路において大切な基礎となると考えています。



